

付 議 第 1 号

平成 26 年度高知県一般会計補正予算に係る意見聴取に関する議案

平成 26 年 9 月高知県議会定例会提出予定の別紙議案に係る地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定に基づく高知県知事からの意見聴取に対し、適当であると認めることについて、高知県教育委員会事務委任規則（平成 4 年高知県教育委員会規則第 1 号）第 2 条第 5 号の規定により議決を求めます。

高知県教育委員会事務委任規則

第 2 条 教育委員会は、次に掲げる事務を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

(5) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案について意見を述べること。

平成 26 年度 9 月補正予算総括表

教育委員会（一般会計）

（単位：千円）

課名	既計上予算額	補正見込額	左の財源内訳		備考
			特定財源	一般財源	
教職員・福利課	7,561,734	4,858	(国) (債) 2,921 1,000	937	
学校安全対策課	5,586,949	282,624	(入) (債) 624 282,000		
高等学校課	18,448,528	7,778	(国) △ 29,330	37,108	
特別支援教育課	6,721,534	10,409	(入) 10,367	42	
生涯学習課	1,319,145	9,274	(入) 9,274		
新図書館整備課	2,421,945	11,347	(国) (諸) 2,269 5,674	3,404	
スポーツ健康教育課	625,070	5,411	(諸) 8	5,403	
計	94,091,715	331,701	(国) △ 24,140 (入) 20,265 (諸) 5,682 (債) 283,000	46,894	

(一般会計)

繰越明許費明細書

追 加

(単位千円)

(生涯学習課)

款 項	目	事 業 名	金 額	左 の う ち 繰 越 予 定 額	説 明
13 教 育 費			10,984	10,984	
1 教育総務費			10,984	10,984	
	4 学校施設等整備費	青少年教育施設整備費	10,984	10,984	計画調整に日時を要したため

(新図書館整備課)

款 項	目	事 業 名	金 額	左 の う ち 繰 越 予 定 額	説 明
13 教 育 費			45,600	10,703	
4 生涯学習費			45,600	10,703	
	2 新図書館整備費	新図書館等整備事業費	45,600	10,703	計画調整に日時を要したため

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額
 又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等の補正に関する調書
 追 加

(単位千円)

課 名	事 項	限 度 額	前年度末までの 支出(見込)額		当該年度以降の 支出予定額		左の財源内訳			一般財源
			期 間	金 額	期 間	金 額	国庫支出金	特定財源 地方債	その他	
小 学 校	学習問題作成委託料	6,455			平成26年度 ～平成27年度	6,455				6,455
新 函 書 館 整 備	新函書館情報システム等 構築等委託料	26,307			平成26年度 ～平成32年度	26,307			(諸) 13,153	13,154

教育委員会事務局 平成26年度9月補正予算案の概要

(単位:千円)

連番	課名	事業名	内 容	補正見込額				備考
				金額	左の財源内訳			
					(一)	(国)	その他	
①	教職員・福利課	教職員住宅災害復旧事業費	台風11号により破損した宿毛工業高校小駄馬宿舎の屋根改修	4,858	937	2,921	(債) 1,000	
②	学校安全対策課	施設整備費	南海トラフ地震に備える施設整備費 ・県立学校避難所機能強化事業 避難所指定されている県立学校(特別支援学校)に、災害時の機能維持のための自家発電機を整備	282,624			(入) 624 (債) 282,000	
③	高等学校課	高校教育推進費	・スーパーグローバルハイスクール事業の減額(△29,330) ・グローバル教育推進事業(29,305) 県立高等学校におけるグローバル教育を推進 グローバル教育推進委員会、ICTを活用した教育環境の充実(高知南校、高知西校) など	△ 25	29,305	△ 29,330		
④	高等学校課	高校再編推進費	学力向上サポート事業 ・学び直し教材(数学)作成委託料 義務教育段階の基礎学力が十分身に付いていない生徒に対応するため、数学の学び直し教材の作成を委託	7,803	7,803			
⑤	特別支援教育課	学校運営費	高知若草養護学校へのスクールバス(リフト付き)の整備	10,409	42		(入) 10,367	
⑥	生涯学習課	青少年教育施設整備費	青少年センター大小アリーナの床改修工事	9,274			(入) 9,274	
⑦	新図書館整備課	新図書館等整備事業費	埋蔵文化財発掘調査委託料 ・発掘調査により、当初の想定を大きく上回る量の木製品(木簡等)が出土したため、それに係る経費(不足分)を増額補正	11,347	3,404	2,269	(諸) 5,674	
⑧	スポーツ健康教育課	学校体育推進費	体力向上のための体育授業改善アドバイザー支援事業 ・小中学校の体育授業の改善に向けたアドバイザー派遣	1,254	1,250		(諸) 4	
⑨	スポーツ健康教育課	競技力向上総合対策事業費	スポーツ推進プロジェクト検討会費 ・本県の課題を踏まえた効果的な取組や体制整備などについて検討し、スポーツ推進プロジェクト実施計画を策定	3,167	3,167			
⑩	スポーツ健康教育課	競技力向上総合対策事業費	2015世界陸上北京大会事前合宿誘致活動費	990	986		(諸) 4	
平成26年度9月補正予算合計				331,701	46,894	△ 24,140	308,947	
⑪	小中学校課	<債務負担行為> 学力向上推進対策費	国語課題克服教材集作成委託料(H26～27年度) ・国語における課題に対応するため、問題分析、指導改善のポイントと、小学校4～6年生、中学校1～3年生を対象とした課題克服シート等をあわせた教材集の作成を委託する。	6,455	6,455			
⑫	新図書館整備課	<債務負担行為> 新図書館等整備事業費	新図書館情報システム等構築等委託料(H26～32年度)	26,307	13,154		(諸) 13,153	
債務負担行為9月補正合計				32,762	19,609	0	13,153	

県立高等学校におけるグローバル教育の推進（グローバル教育推進事業）

高等学校課

目的

郷土を愛し、その発展に貢献できる人材や、高い志をもち高知から世界へチャレンジできる人材の育成

- 異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティをもつ生徒
- 主体性や積極性、チャレンジ精神、協調性や柔軟性がある生徒
- 幅広い教養とともに語学力、コミュニケーション能力をもつ生徒
- 課題発見・解決能力をもつ生徒
- チームワークとリーダーシップをもつ生徒



現状

社会環境の変化

社会や経済の姿が大きく変貌
～少子高齢化やグローバル化の進行～

- ・小学校5年生から英語が教科化(H32年度)
- ・知識だけでなく、思考力や表現力等を問う大学入試制度へ
- ・自ら学び判断できる若者、産業振興や地域振興を担っていく人材への期待

県立高等学校におけるグローバル教育の今後の方向性

- グローバルな課題について、生徒自ら課題研究に取り組むことで、論理的思考力や判断力、表現力を身につけるとともに、英語運用能力の向上を図り、将来グローバル人材として活躍できる資質を育成する。
- 高知西高等学校と高知南中学校・高等学校をグローバル教育推進校に指定し、グローバル教育の先導的な取組について、研究・実践を行う。加えて、高知南中学校・高等学校は教育センター研究校としても位置付け、指導主事が常駐して教育活動を支援する。
- 将来的には、すべての県立高等学校でグローバル教育の視点を取り入れた教育を推進する。

グローバル教育推進事業の概要

高校教育推進費 29,305千円（補正額 △25千円（一）29,305千円（国）△29,330千円）

グローバル教育推進委員会【4,991千円】

- ・教育次長を座長に教育委員会を挙げて取組を推進する。
- ・グローバル教育の実践や国際バカロレアに精通した外部委員を加えて、戦略的且つ計画的に取組を推進する。
- ・本事業の全体計画の進捗状況を検討し、PDCAを機能させる。また、学校の取組に対して評価し、指導・助言を行う。

評価・指導

高知南中高校と高知西高校で先導的に取組を実施

評価・指導

実践可能な取組を順次他校へ普及

計画の立案・準備(9月補正)

課題研究のカリキュラム開発【24,314千円】

- 先進校視察による調査
- 海外を含めたフィールドワーク連携先との交渉・調整
- ICTを活用した教育環境の充実(24,314千円)
タブレットPCの導入42台×2校(試行)
Wi-Fiシステムの導入(ホーム教室)
- ICTを活用したカリキュラムの開発・試行

※課題研究とは、生徒が研究テーマについて、フィールドワークなどの調査に基づいて、その解決策に関する自分の考えをまとめ検証し、論文にまとめ、発表する学習。

平成27年度以降の事業の実施

- 課題研究のカリキュラムの実践・検証
- フィールドワークの実施
- ICTを活用した教育環境の充実
- ICTを活用したカリキュラムの実行
課題研究発表会等でのポスターセッション
外国人指導助手等との生きた英語によるコミュニケーション
海外大学の講義や学会の講演会等の聴講、姉妹校との討議
TOFELや英検等の学習
- 課題研究発表会の開催
- 連携先での学習活動の実施

- 探究型カリキュラムの実践・検証
- 外部講師による特別授業

- プレゼンテーションを導入した授業の本格実施

- 海外大学や姉妹校への生徒派遣
- 国内外で開催される国際会議や学会への参加・聴講
- 海外留学への支援の充実

将来の県立高等学校の姿

すべての県立高等学校でグローバル教育の視点を取り入れた教育を推進することで、グローバル人材を育成

グローバル教育推進校 グローバル教育のトップ校 大学進学への拠点校

- より豊かな学力の定着によるさらなる大学進学の実現
- 思考力、判断力、コミュニケーション能力を高める探究型学習
- 高度な英語運用能力の養成
- 世界とつながるグローバルの拠点

問題解決
能力の育成

思考力の育成

コミュニケーション
能力の育成

高度な
英語運用能力
の強化

高等学校における学力向上対策

I 現状

【高校入試学力検査結果】

平均点 ※各教科とも50点満点

Table with 4 columns: Subject, Heisei 24, Heisei 25, Heisei 26. Rows: Japanese, Math, English.

2割未満(10点未満)の得点の人数

Table with 4 columns: Subject, Heisei 24, Heisei 25, Heisei 26. Rows: Japanese, Math, English.

○ 平成26年度入学者選抜における学力検査において、数学の得点が2割未満(10点未満)の生徒の割合は19.9%と高い。

【学力定着把握検査(基礎力診断テスト)】

平成26年度1年生4月

Table with 4 columns: Subject, D3 Zone Students, Participants. Rows: Japanese, Math, English.

○ 高校入学時のD3ゾーンの生徒数は、国語・数学・英語ともにまだ多い状況がある。

【学力定着把握検査(基礎力診断テスト)時に実施するアンケート結果】(抜粋)

Table with 2 columns: Question, Percentage. Rows: Need for home learning, Understanding of home learning.

1日当たりの家庭学習時間 ※基礎力診断テスト対象者

Table with 4 columns: Subject, Heisei 25 (Apr), Heisei 25 (Sep), Heisei 26 (Apr). Rows: No learning, Average time.

- 高1から高2までの間に、家庭学習をしない生徒の割合が増加している。
○ 家庭学習の必要性を感じている生徒は7割以上。
○ 基礎学力が身に付いていないため、家庭で学習しても分からない、何を使って学習していいか分からない状況がある。

II これまでの主な対策と成果

- 1、2学年において1回目から2回目の検査にかけてD3層が減少しており、A層からD2層の生徒の割合も増加しており、1回目から2回目にかけて、学力の底上げが図られた状況が見られる。
◇ 学力定着把握検査の結果に基づく各校の取組内容の改善
◇ 学習支援員を活用した放課後や長期休業中の補習
◇ 体験活動等を活用した学習意欲の喚起 → 職場体験や大学訪問等を活用し、学習意欲を高める。
◇ 各学校におけるつなぎ教材の作成
○ 進学実績としての国公立大学進学者数は、全体的な生徒数が減少する中であっても500名前後(H26は483名)の進学者を出すことができています。
◇ S、A、B層の学力上位層に対しては、将来の大学進学等に向けて、進学合宿や大学訪問等による意識付けや教員の指導力向上を図ることで進路実現を図る取組を行っている。
○ 就職内定率についても年々上昇している(H26は97.1%)。

III 解決すべき課題

- ◆ 高校1年生段階の必修科目が十分理解できないまま3年生に進級している生徒も多い。
◆ 学力定着把握検査に基づく取組について、組織的に各学校で進めているが、中学校で活用している教材と高校の教材をつなぐ効果的な教材がない。

IV さらなる対策

高校1年段階の必修科目をしっかりと定着させて卒業 → 義務教育段階の基礎学力が必要
このため、指導体制の更なる改善と効果的なつなぎ教材を作成
→ 1年段階での中途退学が多いということへの対策にもつながる

V 計画

Main planning table with columns for months (9月 to 12月, 1月 to 3月, H27年度, H28年度) and rows for organizational measures, math, Japanese, and English strategies.

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機としたスポーツ推進プロジェクト

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会が東京都で開催されることが決定したことにより、全国でスポーツに対する関心が高まり、さらに今後、国では選手育成をはじめスポーツを通じた様々な取組が強化される。この機会をとらえ、県民がスポーツ活動に親しみやすい環境を整えるとともに、オリンピック・パラリンピックや国民体育大会等で活躍する選手を本県から輩出することも見据えて、本県の子供達の「夢」や「志」を育みながら、体力・運動能力の向上につながるスポーツの裾野の拡充からトップ選手のさらなる競技力向上までを一体的にとらえた施策を推進する。

現状

★運動習慣が十分に定着していない。 ★全国トップレベルの選手が少ない。 ★競技成績が低迷している。

課題

1. 運動習慣の定着が不十分。競技人口が減少。
2. 効果的な発掘・育成・強化ができていない。
3. 全国トップレベルの実績のある指導者が少ない。
4. スポーツ医・科学等のサポート体制が不十分。
5. スポーツ施設・設備が不十分。
6. 成人の運動習慣が十分に定着していない。
7. スポーツを通じた地域活性化の取組が少ない。

対策

基本的な方向性

1. 子供達の体力・運動能力の基礎を培うために学校教育を通じた体力づくりが効果的に推進できる体制を整える。
2. 全ての地域において子供から高齢者まで、スポーツに親しみ体力の向上を目指すことができる環境を整える。
3. 質の高い一貫指導を将来にわたって継続して提供し、高知県から日本代表選手を目指すことができる環境を整える。

スポーツ推進プロジェクト実施計画の策定

(高知県スポーツ推進審議会・スポーツ推進プロジェクト検討会)

※障害者スポーツの推進に関する事項を含めプロジェクトの重要な指針となる計画の策定

対策(案)

- *小中学校の体育授業・体育的活動の充実
- *各競技の普及促進
- *県内各地域におけるスポーツ活動活性化の促進

- *一貫した指導体制の確立
- *学校運動部活動の充実
- *全国で活躍が期待される選手や女子選手の重点強化

- *各競技団体の指導者の育成及び組織体制の充実
- *県外の優秀な人材の受入れ

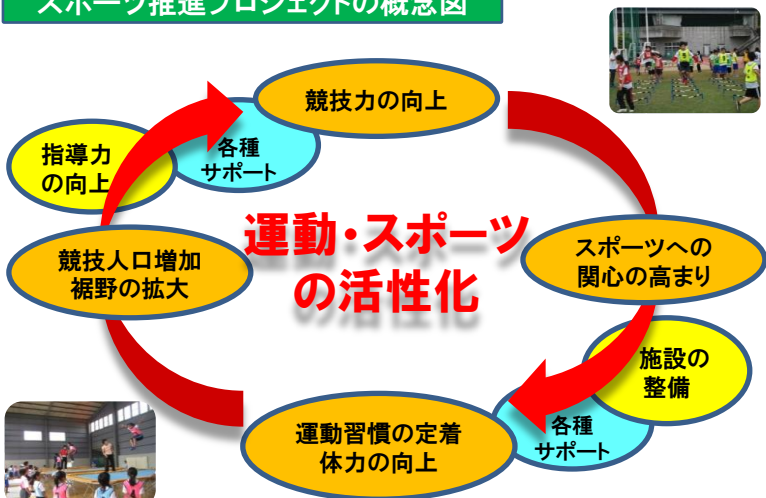
- *データや研究成果の有効活用
- *スポーツ医・科学等の専門的な研修会の実施
- *サポート運営体制の充実

- *各競技の拠点スポーツ施設の整備
- *トレーニング施設・設備の整備
- *地域のスポーツ拠点施設の整備

- *誰もが参加することができるスポーツイベント等の開催
- *気軽に運動・スポーツができる活動の支援

- *2020年オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする国際大会の事前合宿の招致

スポーツ推進プロジェクトの概念図



◆スポーツ推進プロジェクトの展開により、将来にわたって県内全ての地域において運動・スポーツ活動の活性化を図る。

取組の計画

【STEP1】平成26年度9月補正による対応

- ① スポーツ推進プロジェクト検討会 【3,167千円】
※本県の課題を踏まえた効果的な取組や組織体制の整備などについて検討し、指針となる実施計画を策定する。
- ② 体力向上のための体育授業改善アドバイザー支援事業 【1,254千円】
※体力調査等で明らかになった体力問題の課題を解決するため、中心となる体育授業や体育的活動の改善を図る取組を支援。
- ③ 県立青少年センター体育館の整備 【9,274千円(生涯学習課)】
※県東部地区の主要な施設として複数競技の練習等で活用する県立青少年センター体育館の床の改修。
- ④ 県立春野総合運動公園陸上競技場の整備 【22,854千円(公園下水道課)】
※県内の陸上競技拠点施設である県立春野総合運動公園陸上競技場の写真判定システムの更新。
- ⑤ 2015世界陸上北京大会事前合宿招致活動 【990千円】
※2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の事前合宿招致に向けたネットワークの構築等を目的として、2015世界陸上北京大会の事前合宿の招致活動を展開。

【STEP2】平成27年度～平成29年度の取組

- ① スポーツ推進プロジェクト実施計画に基づいた取組の展開
※実施計画に基づいた各種事業や取組を展開。
- ② スポーツ推進プロジェクト実施計画の見直し
※平成29年度にこれまでの取組成果を検証し、必要に応じて事業の見直しを行う。(実施計画改訂版の作成)

【STEP3】平成30年度以降の取組

- ① スポーツ推進プロジェクト実施計画(改訂版)に基づいた取組の展開
※実施計画(改訂版)に基づいた各種事業や取組を展開。



目標

全国学力・学習状況調査において
 小学校：全国平均を3ポイント以上上回る 中学校：全国平均まで引き上げる

これまでの取組

現状と課題

今後の新たな取組

児童生徒の学力

訪問

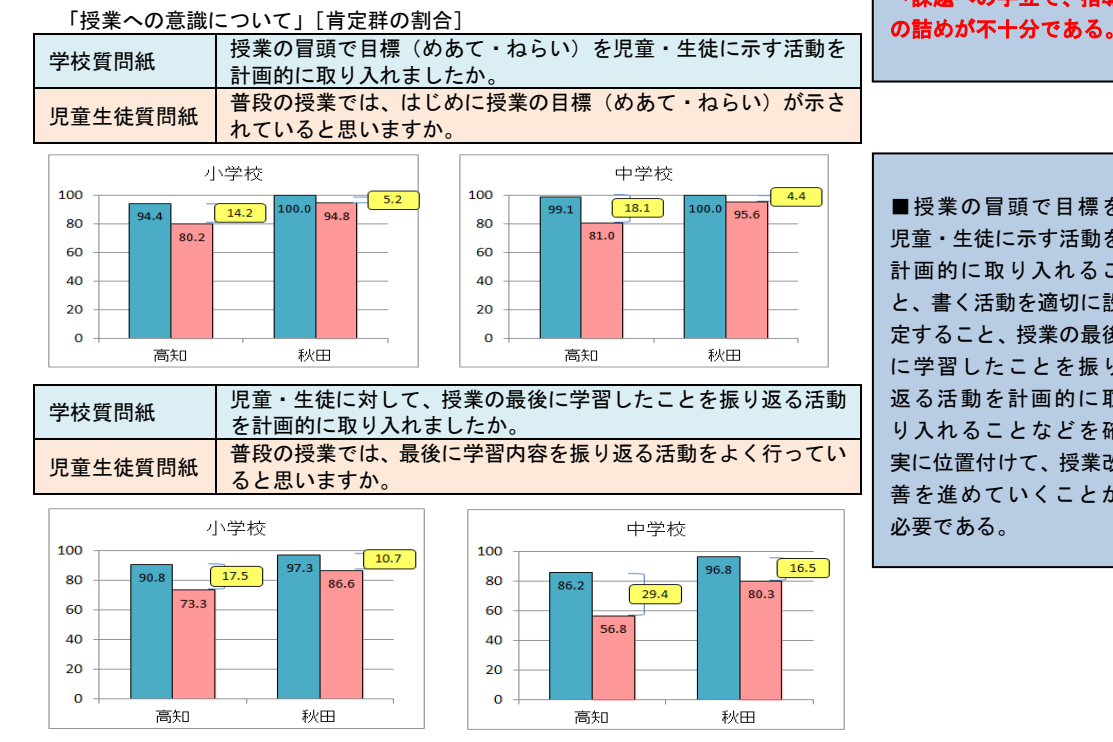
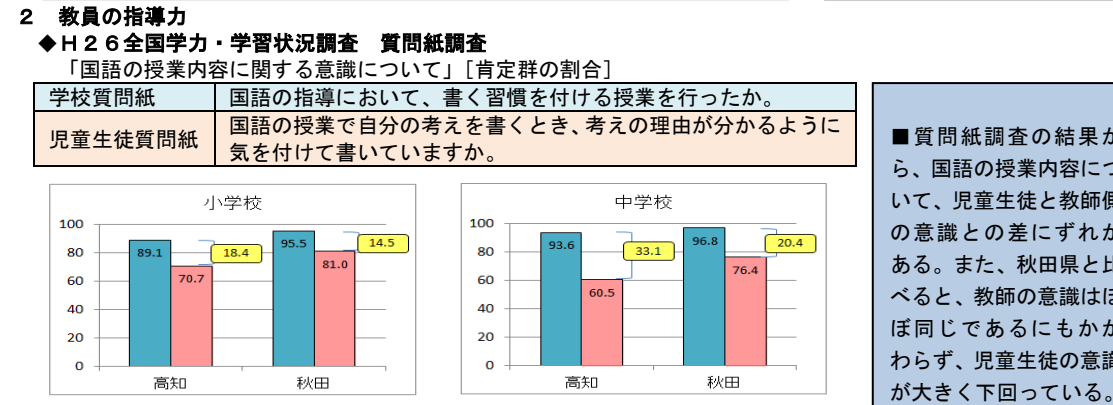
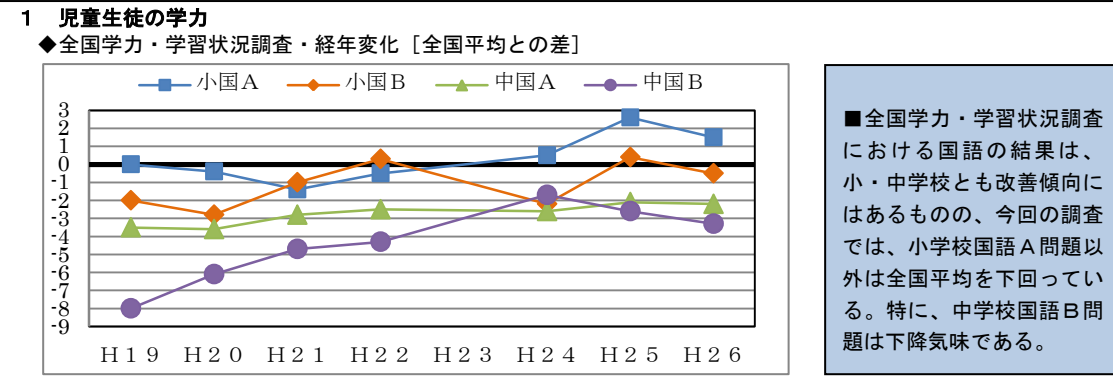
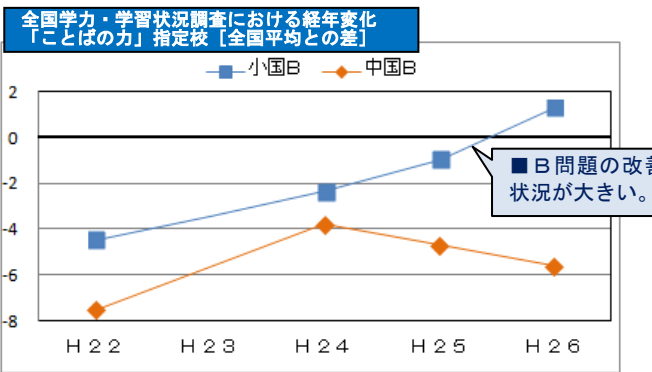
研修

指導資料

教員の指導力

指定校

- ◆**学力調査**
 - ・全国学力・学習状況調査 (H19)
 - ・高知県学力定着状況調査 (H24)
- ◆**教材**
 - ・高知県国語学習シート (H22)
 - ・図書リストブック
 - 「きっとあるキミの心にひびく本」(H22)
- ◆**児童生徒の表現力アップ**
 - ・ショートコメントコンテスト (H23)
 - ・学校新聞づくりコンクール (H25)
- ◆**国語教員への直接指導訪問**
 - ・重点支援校における国語授業改善の指導・助言 (H20-23)
 - ・中学校学力向上プロジェクト校における国語授業改善の指導・助言 (H24-H25)
 - ・中学校学力向上推進校における国語授業改善の指導・助言 (H26-)
- ◆**国語教員研修**
 - ◆**国語教員研修**
 - ・国語授業改善プロジェクト (H21-H24)
 - ・学力調査等の活用に関する研修会 (H21-H25)
 - ◆**国語教員指導力向上研修**
 - ・教科ミドルリーダー育成事業 (H20-H25)
- ◆**教員用指導資料**
 - ・高知県国語指導改善資料集 (H22)
 - ・高知県国語学習シート活用事例集 (H23)
 - ・高知県学校図書館活動ガイドブック (H22)
 - ・高知県学校図書館活用実践事例集 (H23)
- ◆**国語に係る指定校**
 - ・新教育課程拠点校小学校4校 (H21-)
 - ・国語学習シート活用協力校中学校4校 (H24-)
- ◆**思考力・表現力等の向上を図る指定事業**
 - ・国語学力定着事業 (H22-H24)
 - ・ことばの力育成プロジェクト推進事業 (H25-)
 - 指定校21校(小学校11校、中学校10校)
 - 学校図書館やNIE活動



9月補正を含め直ちに取り組むこと

- ◆**課題のある市町村教委や中学校への訪問指導**
 - 10月→B問題対策の聞き取りと徹底
 - 2月→B問題対策のチェック
- ◆**教材作成と活用の徹底**
 - ・過去問題集作成・活用の徹底 (全国学力・学習状況調査領域別等、B問題)
 - ・「国語課題克服教材集」作成

学力調査の結果分析から見える課題と指導対策としてのシートを作成し、課題改善の徹底を図る。

 - ・国語学習シート等の教材活用の徹底
- ◆**授業改善マニュアル(国語指導改善資料集等)の活用徹底**
 - ・課題のある中学校への直接指導訪問(各学校の校長及び教科担当)

来年度当初から取り組むこと

- ◆**教材活用の徹底(課題克服教材集、過去問題集、学習シート)**
 - ◆**教材活用事例の普及**
 - ・ことばの力育成プロジェクト指定校における公開授業
 - ◆**中学校国語授業改善研修(ブロック別研修)**
 - 4ブロック(東部・中部・西部・高知市)
- 【第1回】6月(集合研修)

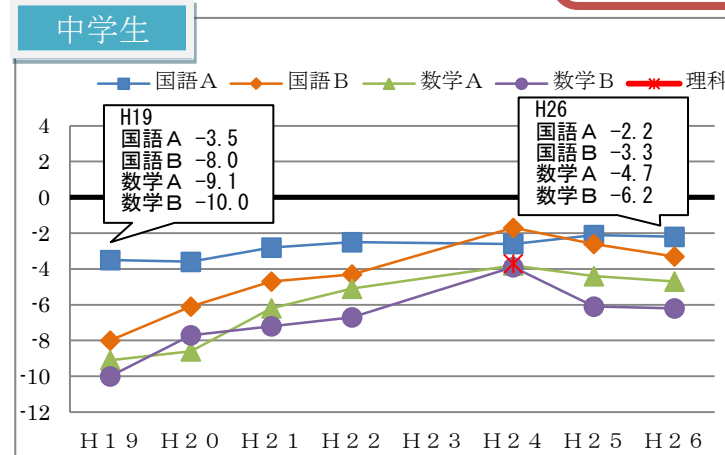
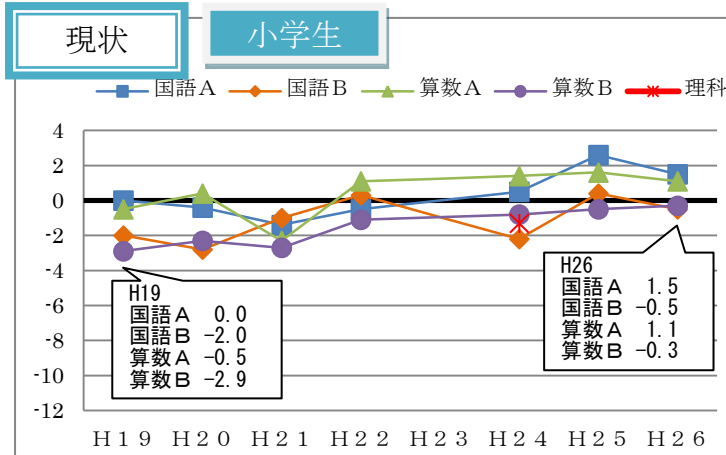
 - ・課題克服教材集の活用の徹底
 - ・授業改善マニュアルに基づく授業づくりの徹底(授業公開)
 - ・各学校の国語学力向上対策の共有
 - ・調査官、大学教授による学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり等の講演等
- 【第2回】9月~12月(勤務校研修)

 - ・授業改善マニュアルに基づく授業づくりの徹底(授業公開)
 - ・各学校の国語学力向上対策の検証
 - ・学力調査分析、課題解決策の共有
 - ・指導主事による指導助言等

小・中学校における重点的な学力向上対策(案)

目標

小学校→全国平均を3ポイント上回る 中学校→全国平均まで引き上げる (H27年度末)



【小学校】
 ●国語A問題は改善傾向にあり、全国平均を上回っている。国語B問題は改善傾向にはあるものの伸び悩んでいる状況にあり、全国平均を下回っている。
 ●算数A問題は全国平均を上回っているものの、横ばい状況にある。算数B問題は改善してきているものの、全国平均を下回っている。

【中学校】
 ●改善傾向にはあるものの、すべての教科で全国平均を下回っている。
 ●昨年度から、すべての教科に伸び悩んでいる状況があり、国語B問題が下降気味である。
 ●数学に課題が大きく、特に数学B問題は全国を大きく下回っている。

●これまでの取組により、小中学校ともに改善傾向にあるものの、伸び悩んでいる状況にある。
 ●B問題対策がより大きな課題であり、そのための授業改善が一層必要となる。

【授業スタンダードの徹底】
 ■めあて・ねらいの提示
 ■意図的な話し合い活動
 ■理由や根拠に基づき書く活動
 ■振り返りの設定 など

課題	取組	H26												H27		H28							
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月~7月	8月~11月	12月~3月	4月~	9月	10月	11月	12月							
学校経営	中長期的な学校経営のビジョンが弱い 中期学校経営計画の作成と実践 H26~	■中間検証 全国調査分析 校長研修 9/5	アドバイザー訪問 (7名教育事務所配置)	検証改善	検証改善	検証改善	検証改善	■年度末検証 県版調査実施 自校採点	■計画作成	■計画作成	■計画作成	■計画作成	■計画作成	■計画作成	■計画作成	■計画作成	■計画作成						
取組の徹底	市町村間や学校間で取組に温度差がある 課題のある市町村や中学校への直接訪問指導	■学力向上対策の徹底指導 ・全国調査結果分析の確認 ・学力向上対策への指導助言 ・授業スタンダードの徹底 ・教材活用の徹底 市町村教育委員会や規模の大きい中学校(管理職)へ												■学力向上対策のチェック ・県版学力調査結果分析の確認 ・学力向上対策の検証と追い詰め 学年末→春休み→学年始 ・授業スタンダードの確認と徹底 ・教材活用の確認と徹底		■学力向上対策の徹底指導		■学力向上対策のチェック					
国語対策	国語のB問題に対応する授業が弱い 教材活用の促進 学習シート 課題克服教材	国語学習シートの授業や家庭学習での活用 過去問題集作成・配付 活用 ◆【9月補正対応】課題克服教材集作成・配付												県版学力調査結果を踏まえ授業改善に活用		授業改善シートに基づく活用の徹底		【課題克服教材集の補充】 全国調査結果を踏まえ授業改善		県版学力調査結果を踏まえ授業改善 活用徹底			
	授業改善の徹底 直接訪問指導 指導資料活用 ブロック研修	課題のある中学校へ直接指導訪問⇒国語教員 ・学力調査結果分析、課題改善策への手立て ・過去問題集、課題克服教材集の活用の徹底												授業改善		ブロック研修(集合研修) 授業改善の徹底		ブロック研修(勤務校研修) 訪問指導による授業改善のチェック		授業改善			
語彙力や表現力が弱い	ことばの力育成プロジェクト	指定校21校による公開授業研究会 H25-H27 3年間指定 <国語学習シート活用促進、学校図書館活動の充実、NIEの推進>												研究まとめ 研究報告会 2/8		研究の充実 教材活用		公開授業研究会 教材活用		研究まとめ 研究報告会 普及			
読書好きであるが、学力につながらない	読書の量と質を高める取組	ショートコメントコンテスト 推薦図書リストの活用 H25 約6200名 図書館環境の整備(図書館支援員の配置と空調設備への補助) H24-H26														ショートコメントコンテスト 推薦図書リストの活用							
数学対策	算数・数学に課題が大きい 教材活用の促進	A問題対応⇒単元テスト、算数・数学学習シートの授業や家庭学習での活用 B問題対応⇒思考力問題集の授業での活用、活用事例の普及												県版学力調査結果を踏まえ授業改善に活用		単元テストの見直し		思考力問題集の活用事例の普及		活用徹底			
	授業改善の徹底 授業改善プラン 直接訪問指導	授業改善プラン 中間検証 思考オリンピック H26 約3000名 直接指導訪問												年度末検証		プラン作成		中間検証		年度末検証 プラン作成			
	ステージに応じた教員研修の実施	若手教員の集中研修(後期6名) H26-H30 5年間で60名育成 先進県(福井県)への派遣 2名 H26-H30 5年間で10名、中核教員のブラッシュアップ研修⇒H26 20名														前期6名 研修の継続+研修修了者へのフォローアップ		後期6名		前期6名			
高知市対策	4割の中学生在る高知市の学力が低い アクションプラン 緊急対策 直接訪問指導	アクションプラン (パワーアップシート活用、スーパーバイザーの配置3名、学力向上補助員の配置24名) 学力向上への緊急対策⇒小6・中2を対象、各小中学校で取組シートを作成 中学校学力向上推進校への直接訪問指導												取組の検証 ⇒県版学力調査結果分析 次年度に向けて取組の見直し		全国学力調査の自校採点結果分析による検証改善		全国学力調査結果分析による検証改善		県版学力調査結果による検証改善		取組の継続 検証改善サイクルの徹底	
		教育長連絡会												教育長連絡会		教育長連絡会(年間5回)							